



お手植え松 (おてうえまつ)

(誤)

園内には皇室の方々が来園されたときにお手植えされた松が6本あります。北庭にあるのが秩父宮殿下、高松宮殿下、英国エドワード・アルバート王太子殿下、
※久邇宮殿下・同妃殿下、北白川宮大妃殿下が植樹された5本。掬月亭の南には、明治36(1903)年に当時皇太子だった大正天皇がお手植えされた松があります。 ※(誤)→(正) 良子女王殿下(香淳皇后)



お手植え松 (おてうえまつ)

(正)

園内には皇室の方々が来園されたときにお手植えされた松があります。北庭にあるのが昭和天皇、秩父宮殿下、高松宮殿下、英国エドワード8世、北白川宮大妃殿下が植樹された松が5本。掬月亭の南には、明治36(1903)年に当時皇太子だった大正天皇がお手植えされた松があります。
(令和4年8月調査結果による)